

06 知識・技能を身に付ける

取組事例

21

こどもちゃれんじ教室

伊賀市教育委員会 小学生とその保護者



クイズで樹木について学んでいる様子

実施時期	令和5年10月
実施場所	伊賀市焼尾国有林 遊々の森 「生き生き学びの森」
時間	2時間
対象・人数	小学生7人とその保護者
講師	三重森林管理署 職員
備考	伊賀市教育委員会事業「こどもちゃれんじ教室」

めざす姿	06 知識・技能を身に付ける (01遊び・楽しむ、02親しむ、03興味・関心を持つ、04違いに気づく、08地域の課題に目を向ける)
ねらい	木に興味・関心をもち、森林のはたらきや木材の利用について考える
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 樹木の名前当てクイズや樹木の葉の観察を通して、樹木に興味・関心をもち、違いに気づく ・ 薪投げゲーム「クップ」を楽しみ、木にふれ、親しみを持つ ・ 「うんこドリル 森と暮らし」の問いから、森林のはたらきや木材の利用について考える
学習指導要領との関連	森林資源と木材生産（小学5年生社会科） 面白さ・不思議さ・観察（小学1～2年生生活）、楽しむ（小学1～4年生道徳）、身の回りの生物・植物の体のつくり（根・茎・葉）（小学3年生理科）、森林資源のはたらき・森林と人々の暮らし（小学5年生社会科）、地域の自然環境と人々の暮らし（小学生総合的な学習の時間）



薪投げゲーム「クップ」を楽しんでいる様子



「うんこドリル 森と暮らし」を使って森林のはたらきを学んでいる様子

子どもの反応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽しかった。学校でもクップをやりたいです。 ・ 家でも森林について勉強したいと思いました。
主催者のコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゲームを体験している児童は非常に楽しそうな様子で、森林を身近に感じ、その大切さも理解してもらえたと思います。